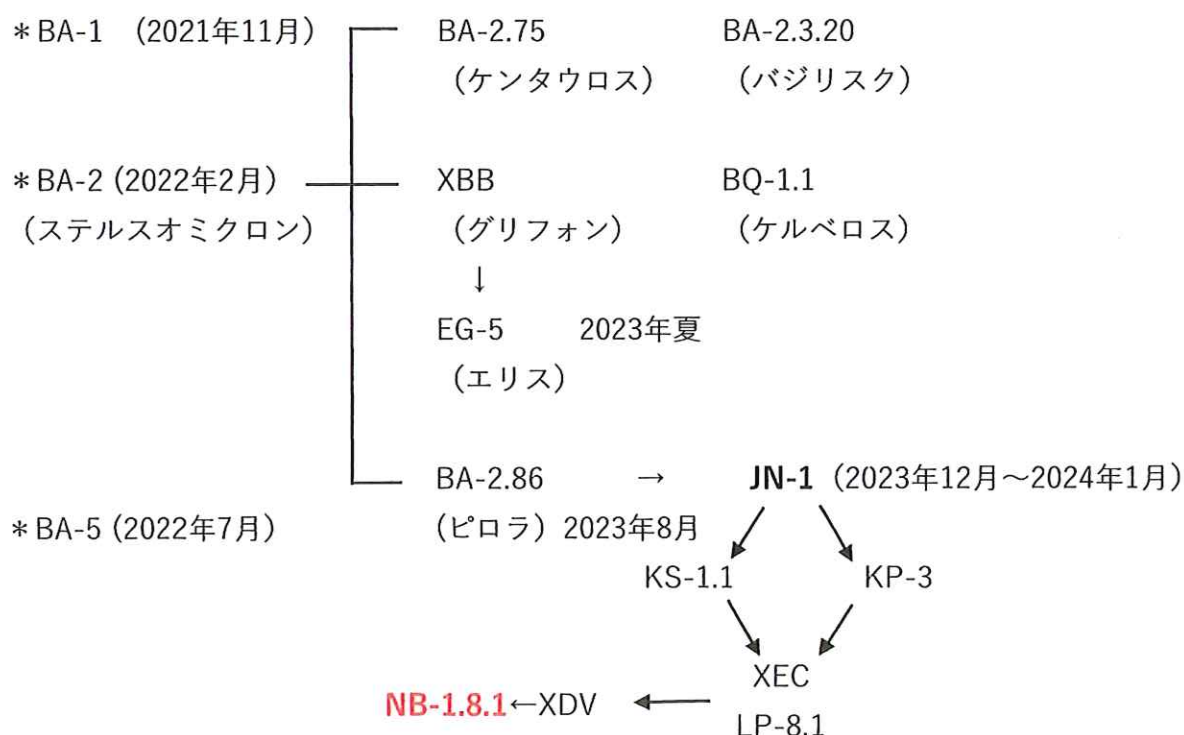


初めて保健だよりに新型コロナウイルスについて書いたのは2020年2月号でした。その後、流行を見つつ2023年5月までに12回掲載し、2024年12月コロナは終息したかのように影を潜めていました。しかし今年に入り、先週までですでに10週連続コロナの陽性者は増え続けています。

新型コロナウイルス

2020年1月に中国から帰国した男性に陽性が確認された事を機に「武漢株」が流行そこから株の変異が始まり、2021年5月「アルファ株」が、8月には「デルタ株」がピークとなり、2021年11月「オミクロン株 (BA-1)」が南アフリカで現れて以来、主にこの「オミクロン株」からの変異株、子孫株が主流となっています。



このNB-1.8.1が今話題のニンバスです。

いろいろなアルファベットや数字の株があり、はたまたヨーロッパの神話に出てくる生き物の名前が付くなどモォー覚えきれません！ 名前は面白いけど (^-^)



保健だより 2025年 9月 つづき

とりあえず今話題になっているニンバスは「おっ！ハリーポッターの箒」と思った方も多いと思います。（私もそうです）ハリーポッターのニンバス2000やマルフォイのニンバス2001！しかしこのニンバス、雲・雷雲といった気象用語としての意味と、聖像などの後光や光輪の意味があるそうです。

もともとコロナウィルスのコロナは太陽のまわりにある冠状の光とウィルスの形が似ていてついた名前です。

私はコロナウィルスの形状から後光や光輪からニンバスとついたと思っていたのですが、本当のところはウィルス感染の広がり方が速く、またその能力が雲のように早く広がるイメージと結びついてつけられたそうです。

さて、このニンバスの症状ですが・・・

『カミソりを飲み込んだようなひどい喉の痛み』といわれています。

そしてこのニンバス、流行中のコロナ感染全体の21%だそうです。

最近の症状の訴えを聞いていると、「喉のひどい痛み」よりも

「だるい」「腰が痛い」「筋肉痛」が多いように思います。

ニンバスのほかにもいろいろな変異株が混ざっているようです。



大事なことは

痛みが **“いつもと違う” “なんか変”** という気づきです。

“あれ？おかしい！”と思ったら、コロナウィルスのチェックをしてみてください。

体力が充分ある。基礎疾患はない。という方たちにとっては【かぜ症候群】程度でも高齢の方・免疫力の落ちている方・心疾患や呼吸器疾患がある方にとっては単なる【かぜ症候群】とは言えないくらい重症になる病気です。

自分の事は当然ですが、周りの方の事も考えて、対処・対応していただければと思います。

**手洗い・うがい・マスク着用・部屋の換気！
熱中症に気を付けながら、引き続きおねがいします。**